

# 個別施設計画

策定年月 | H31.1

施設名	倉敷天城高等学校・中学校			所在地	倉敷市藤戸町天城269		
敷地面積	58,500.18 m <sup>2</sup>			棟数	48 棟 (計画記載対象 13 棟)		
延床面積	15,312.76 m <sup>2</sup>				※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	中学校及び高等学校教育のため						
<b>【想定される自然災害】</b>							
予想震度 5強		津波 -			浸水 -		
建築規制	市街化区域、第一種低層住居専用地域 建ぺい率40%、容積率80%						
エネルギー使用量 (2017年度)	電気	ガス	水道	燃料 (灯油)			
	519,131 kWh	459 m <sup>3</sup>	7,446 m <sup>3</sup>	700 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(洪水、土砂災害、高潮、津波)						

## 1 施設内建物の概況

名 称	特別教室棟(100棟)30	理科棟(101棟)31	管理普通教室棟(103棟)32
築年(西暦)	2005 年	2005 年	2007 年
構 造	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 3 階	鉄筋コンクリート造 4 階
建築面積	481.94 m <sup>2</sup>	344.64 m <sup>2</sup>	1,383.20 m <sup>2</sup>
延床面積	1,173.16 m <sup>2</sup>	979.44 m <sup>2</sup>	3,847.28 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	図書室 調理教室 被服教室	生物教室 化学教室 物理教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	昇降口棟(104棟)33	格技場(3棟)4-1	体育館(34棟)11
築年(西暦)	2007年	1927年	1958年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	木造 1階	鉄骨造 1階
建築面積	362.63 m <sup>2</sup>	307.40 m <sup>2</sup>	594.18 m <sup>2</sup>
延床面積	785.93 m <sup>2</sup>	307.40 m <sup>2</sup>	594.18 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	多目的教室 総合学習室	武道場	体育館
主要な設備 (屋外を含む)	-	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有		有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	食堂・生徒集会室棟(42棟)35	体育館(68棟)21-1	普通教室、特別教室、保健室棟(84棟)23-2
築年(西暦)	1966年	1975年	1985年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 5階
建築面積	180.00 m <sup>2</sup>	716.35 m <sup>2</sup>	66.26 m <sup>2</sup>
延床面積	383.23 m <sup>2</sup>	1,432.70 m <sup>2</sup>	908.53 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	食堂 厨房 研修室	体育館	コンピュータ室 LL教室 社会科教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	不適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	部室棟(99棟)29	特別教室棟(2棟)2	普通教室(2F~4Fの一部)(6棟)3-1
築年(西暦)	2005年	2007年	1979年
構造	コンクリートブロック造 1階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	271.20 m <sup>2</sup>	500.00 m <sup>2</sup>	66.90 m <sup>2</sup>
延床面積	271.20 m <sup>2</sup>	1,000.00 m <sup>2</sup>	200.60 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	部室	多目的室 技術室 サイエンスラボ	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		適
	中性化 ※3		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室・保健室(1F~4Fの一部)(7棟)3-2		
築年(西暦)	1985年		
構造	鉄筋コンクリート造 5階		
建築面積	78.37 m <sup>2</sup>		
延床面積	277.11 m <sup>2</sup>		
主要な用途 (室名等)	普通教室 保健室		
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(100棟)30	予防保全を図る。
理科棟(101棟)31	予防保全を図る。
管理普通教室棟(103棟)32	エレベーターを設置する。設置に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
昇降口棟(104棟)33	予防保全を図る。
格技場(3棟)4-1	予防保全を図る。
体育館(34棟)11	予防保全を図る。
食堂・生徒集会室棟(42棟)35	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
体育館(68棟)21-1	長寿命化改修を行う。
普通教室、特別教室、保健室棟(84棟)23-2	長寿命化改修を行う。
部室棟(99棟)29	予防保全を図る。
特別教室棟(2棟)2	予防保全を図る。
普通教室(2F～4Fの一部)(6棟)3-1	長寿命化改修を行う。
普通教室・保健室(1F～4Fの一部)(7棟)3-2	長寿命化改修を行う。

### 3. 施設全体のスケジュール

#### (概要)

- 1 設備等更新  
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 エレベーター設置  
(103棟)2019年度以降設計・施工
- 3 長寿命化改修  
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。  
(68棟)2020年度以降設計・施工  
(84棟、6棟、7棟)2023年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟 (100棟)30	予防保全		予防保全を図る。								
理科棟(101棟) 31	予防保全		予防保全を図る。								
管理普通教室 棟(103棟)32	設備等の 定期更新			エレベーター							
昇降口棟(104 棟)33	予防保全		予防保全を図る。								
格技場(3棟)4- 1	予防保全		予防保全を図る。								
体育館(34棟) 11	予防保全		予防保全を図る。								
食堂・生徒集会 室棟(42棟)35	予防保全		予防保全を図る。								
体育館(68棟) 21-1	長寿命化改修				設計・施工 3						
普通教室、特別 教室、保健室棟 (84棟)23-2	長寿命化改修							設計・施工 2			
部室棟(99棟) 29	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(2 棟)2	予防保全		予防保全を図る。								
普通教室(2F～ 4Fの一部)(6 棟)3-1	長寿命化改修							設計・施工 84棟に含			

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
普通教室・保健室(1F～4Fの一部)(7棟)3-2	長寿命化改修							設計・施工 84棟に含			

#### 4. 概算費用

総額 6億円(長寿命化改修)
----------------

## 5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R2.3	・管理普通教室棟(103棟)において、設備等の定期更新時期を変更